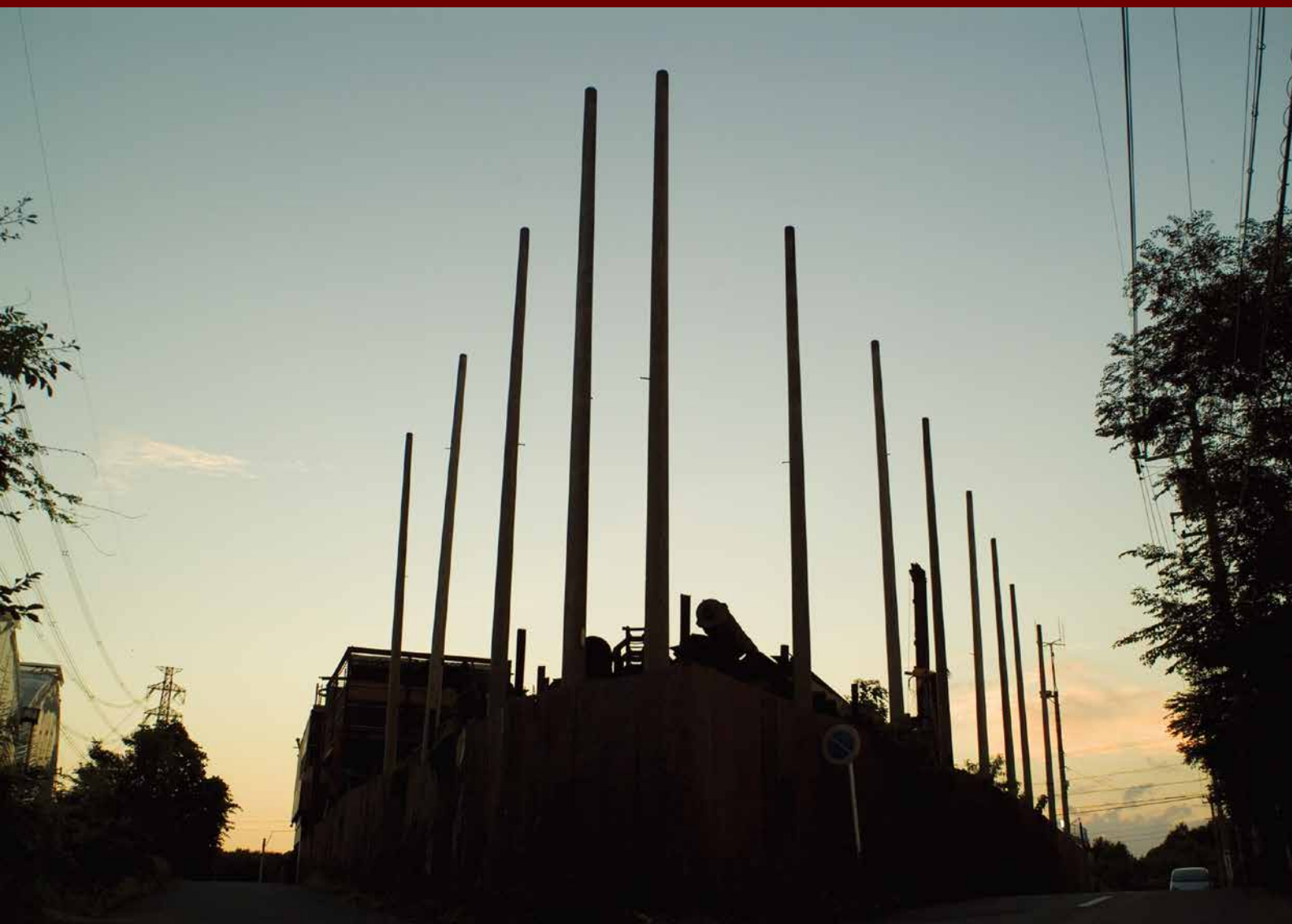


TOPICS.1	コンドルズが飛んできた!!	P01-02
TOPICS.2	桂吉弥をかたちづくるもの ~ 上方落語	P03
TOPICS.3	劇団四季・ふたりのロッセ	P04
TOPICS.4	新星ギター・デュオ ichimujin	P05
TOPICS.5	今年もやります。Autumn season's cafe	P06
EVENT GUIDE		P07-10
EVENT SCHEDULE		P11-12
REPORT	ペーパーわんこ展 / 平常 人形劇「毛皮のマリー」	P13-14
INFORMATION		P15



コンドルズ

が飛んできた!!

DANCE COMPANY

彼らに出会えば、
生きる勇気がわいてくる。

少年の心を持つ永遠の悪ガキ“コンドルズ”。縦横無尽にステージを駆けめぐるその姿に、思わず心がときめく。全身全霊をかけた表現に、魂が揺さぶられる。ダンス・映像・コント・人形劇など多彩なジャンルで、芸術という堅苦しい言葉を軽々と超越してしまう彼らのステージを、笑ったり涙したりしながら、心ゆくまで楽しんでほしい。お見逃しなきよう!!



Photo:HARU

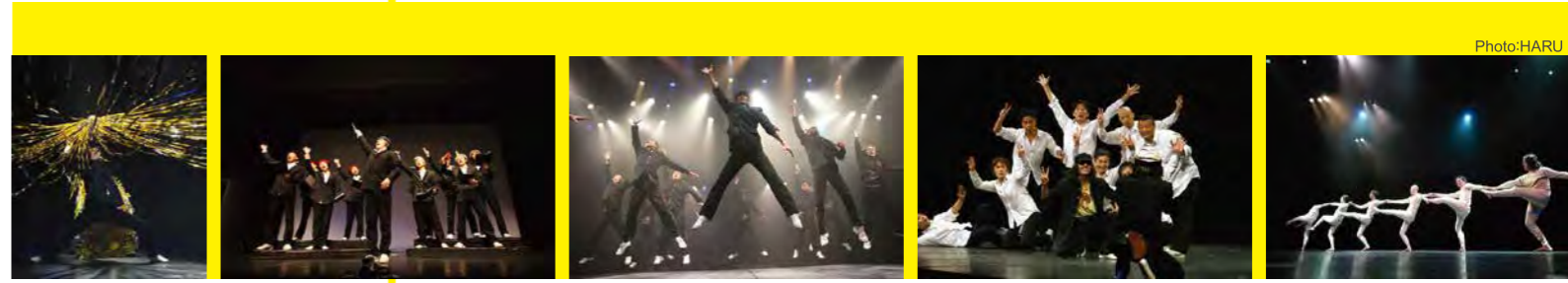


Photo:HARU

コンドルズ — 出発し続ける男たち text. 唐津絵理

コンドルズは、男ばかりのダンス・カンパニーである。彼らのルーツは、早稲田大学に近い「朋来居」という古い学生アパートだ。そのアパートの住人や全国学生ダンスコンクールの男性楽屋で知り合った男たちが、コンドルズの結成メンバーとなった。彼らの舞台衣装はいつも、弊衣破帽の学生服。それだけでもその昔、旧制高校の寮で繰り広げられたバンカラ学生の乱舞を思い起こす方もおられるだろう。そんな彼らの公演が、この11月、愛知で2度も開催される。一公演は、これまでのコンドルズ作品のベスト版、もう一公演は、地元アーティストとの共同製作である。いずれも見逃さない公演だ。

コンドルズの魅力を要約すれば、「出発し続ける、華々しい高揚感」であると、私は思う。「コンドルは飛んでいく」という名曲があるが、「常に出発し続ける」感覚は、コンドルズのメンバーの共有する感覚なのではないか。作品タイトルでも、『SKY HIGH』（春日井公演）や『愛知と青春の旅立ち』（名古屋公演）といった出発モノが多い。学生服に出発はよく似合うのだ。

「出発し続ける」感も創作姿勢にも表れている。「出発」とは未知への挑戦であるが、同時に未完でもある。一方、「到着」は到達ではあるが、同時に完了でもある。コンドルズには、あえて作品の到達点、その完成を眼中におかないところがある。むしろ華々しい出発のエネルギーこそが彼らの真髄であり、一貫したメッセージなのだ。だからこそコンドルズには、他のダンスカンパニーとは単純に比較できないポジティブな魅力、観客の共感を集める引力が生まれるのだ。

約16年ほど前、著者はコンドルズ創立メンバーのひとり、石淵聡氏を訪ねたことがある。その場所こそ、コンドルズ生誕の地、朋来居だ。打ち合わせを終えて、促されるままに同じ階に続く古い扉を開くと、そこには飄然

と佇む男がひとり。のちにコンドルズの主宰者となる近藤良平である。一年間の放浪の帰国直後だったという近藤は、ふとまたどこかへ出発してしまいそうな、そんなただならぬ気配を漂わせていた。コンドルズのメンバーには、近藤のようなプロダンサーもいれば、美術家、サラリーマン、教師と、その職業はバラバラだ。さらに小柄、大柄、スキンヘッドや長髪と、個々の身体性でも、いわゆるダンサーのイメージにはあてはまらない個性派揃いである。彼ら一人ひとりが、それぞれの日常と、舞台という非日常を絶妙な感覚で行き来しながら、人生を楽しんでいるようにみえる。

さて、劇場に入って客席に腰掛けると、そこは今まさに出発しようとする宇宙船の船内のよう。学ラン姿のメンバーが登場し、ダンス、生演奏、芝居、映像そして人形劇と、スピード感溢れるユニークな舞台が、次々と展開されていく。長い肢体を生かした近藤良平の、宙に軌跡を描く切れ味鋭いソロ・ダンスが魅力的だ。ロック音楽と一緒に繰り広げられるダンスの圧倒的なパワーに驚き、そして馬鹿馬鹿しいほど愉快なコントに身を任せる。でも楽しいだけではなく、キッチュな美術や小道具でアートな感覚を味わい、底に潜むシュールでシニカルなメッセージにも耳を傾けよう。

出発した者はだれでも、いつか必ずどこかへと到着する。出発することは、運命に突き進んで、自らチャンスを探り出すことであり、到着はその結果としての現実に対面することだ。人生の転機はそう何度も訪れるものではない。だからこそ、出発は華々しく、切なく、美しい。

公演を見終わったとき、元気になって前を向いてもう一度出発したくなる、そんなあなたが客席にいるかもしれない。

唐津絵理 (愛知芸術文化センター学芸員)
お茶の水女子大学大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻修了。ダンサーとして活動後、1992年より愛知県文化情報センターにて、ダンス公演やワークショップ、講演会などを企画。ダンスと異ジャンルのアートによる共同製作作品などもプロデュース。編著書に「身体知性」。近年では大学非常勤講師や新聞連載、文化庁文化審議会臨時委員を務めるなど、様々な形で「アートと社会をつなげる」活動に取り組んでいる。

コンドルズ SKY HIGH

Let's Go Crazy tour 2007 秋 [春日井スペシャル公演]

構成・映像・振付: 近藤良平

出演: 青田潤一 / 石淵聡 / オクダサトシ / 勝山康晴 / 鎌倉道彦 / 古賀剛
小林顕作 / 橋爪利博 / 藤田善宏 / 山本光二郎 / 近藤良平

11月23日(金・祝) 18:00~ (開場は30分前)
春日井市民会館

[料金] 全席指定 ※当日券同額、未就学児不可
一般 S席¥5,000、A席¥3,500、学生席(当日指定)¥2,000
PiPi会員 上記金額の¥500引き

※学生券は公演当日に座席を指定する「引換券」です。公演当日16:30より「座席指定券」と交換しますので、市民会館事務所に学生証をご提示ください。
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、チケットぴあ(Pコード379-182)

好評
発売中!

11月、愛知県はコンドルズ祭りだ!
どちらの公演も必見。この機会をお見逃しなく。子どもたちと地元のアーティストたちが、コンドルズ&バンドプロジェクトTHE CONDORSと一緒に創り上げる、摩訶不思議なステージ

愛知と青春の旅立ち〜コンドルズと祝おう〜

11月1日(木) 18:45~ (開場は30分前)
愛知県芸術劇場大ホール

[料金] 全席指定 ※当日券¥500増、4才未満路上無料
¥1,500(愛知芸術文化センター開館15周年特別料金)
[出演] コンドルズ、ダンス&音楽ワークショップ参加者、コンドルズ・ユースAICHI

[取扱い] チケットぴあ(Pコード378-828)、
愛知芸術文化センタープレイガイド 052-972-0430
[問合せ] 愛知県文化情報センター 052-971-5511
bunjo@aac.pref.aichi.jp http://www.aac.pref.aichi.jp/

インタビュー 桂吉弥をかたちづくるもの

若手落語家のホープとして、
有望な役者としての素顔に迫る

2006年9月、大阪に約60年ぶりの定席「天満天神繁昌亭」が開設され、盛り上がる上方落語。その“熱い”上方落語が、10月からNHK朝の連続テレビ小説で取り上げられる。タイトルは『ちりとてちん』。出演者の桂吉弥さんは、今後の上方落語を担う若手の一人だ。

そんな吉弥さん、落語との出会いは偶然だったという。「演劇は好きでしたが、落語は観たことはありませんでした。大学入学時に落研に誘われ、なんとなく先輩の寄席を観たら、面白くて。一人で全ての役を演じるのが新鮮で、衝撃的でした。結局卒業まで落研にいましたね。」大学では教育学を専攻し、教育実習に

も行った。「でも教員には向いていない、大学で何やってたんだろ、と振り返ったら、ずっと落語を勉強していた。そうだ、落語家になろう、と。思いたったら居てもたってもいられず、桂吉朝師匠に入門の手紙を出していました。」大学時代、吉朝師匠の落語が好きで、寄席に通っていたという吉弥さん。「落語にはまればまるほど、“知る人ぞ知る”落語家を追っかける。めちゃめちゃ面白いのに、なんでメディアに出ないんだろ、と興味が募り、あの人を一番近くで見ていたいと、恋焦がれていたんです(笑)。」

そして、大学5年生の6月から稽古が始まった。「口うつしで稽古して

桂吉弥

くださいました。でも毎日ではなく、2週間に1回位のペース。大学の落研部屋で一人練習していました。」11月に入門、12月に念願の初舞台に上がった。しかし翌年1月、神戸の震災にあう。「運良く無事でしたが、師匠に連絡がとれなくて。3～4日してやっと連絡したら『生きとったんか!』って。2月は震災ボランティアをやり、3月に大師匠である桂米朝の内弟子に入りました。」吉朝師匠に稽古をつけてもらいながら、米朝師匠宅での住み込み生活。これには、吉朝師匠の意向があったという。「チャーちゃん(米朝師匠)宅での3年間を体験させたかった、って言われたんです。つまり、米朝を見て、落語家の生き方を学べ、と。」

一流から流儀や作法を学ぶ一方、演劇の世界にも出会った。吉朝師匠は、演劇集団リパット・アーミーの役者として活躍していたからだ。「最初は“師匠の面白さは落語に尽きる”なんて思っていました。でも根が演劇好きなんで、舞台稽古について行くうちに『吉弥くんも出てみる?』なんてノリで、コントや芝居に出るようになりました。」続いて、NHK大河ドラマ『新選組!』に出演。演劇

profile 1971年大阪生まれ。神戸大学教育学部卒業。94年11月桂吉朝に入門。12月大阪・太融寺「吉朝学習塾」にて初舞台。98年2月まで桂米朝宅で内弟子を経験。97年ABCお笑い新人グランプリ審査員特別賞、98・2001年NHK新人演技大賞新人賞、05年なにわ芸術祭「新人賞」、06年咲くやこの花賞受賞。



やドラマのおかげで落語に役立つことがあるという。「やはり演技力です。役者は、相手にどう見えるか計算して演技している。落語に生かせると思いましたね。」しかし『新選組!』の撮影時は、緊張して硬くなることもあった。落語家として9年目を過ぎ、落語も“型”にはまりすぎていた時だった。「ある日撮影現場に三谷幸喜さんが来られて、僕に耳打ちしたんです。『カメラが廻っている時は君が主役なんだから、やりたいようにやりなさい』ってね。ああ、自分のやれる精一杯のことを自分らしくやろう、って思いました。それは落語でも同じだな、と。」

毎月多くの高座を務める吉弥さん。「初めての人でも楽しめる落語にしようと思っかけています。面白いなあ、って思ってもらえるのが一番。」

落語家となり早13年。あくまでも自然体、実は努力家。受け継いだ伝統を生かしながら、吉弥流の落語はこれからも笑いを呼び続ける。

第42回かすがい芸術劇場 上方落語 吉弥・紅雀二人会

10月28日(日) 14:00～(開場は30分前)
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[料金] 全自由席 一般¥2,000 PiPi会員¥1,800

※当日券¥200増、未就学児不可

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換



残り
わずか!



Photo:山之上雅信



Photo:荒井健

●児童文学の傑作『ふたりのロッテ』
『ふたりのロッテ』は、ドイツの児童文学者エーリッヒ・ケストナーが1949年に発表した小説をもとに、劇団四季が舞台化したオリジナルミュージカルです。舞台はオーストリー中部の都市、ザルツブルグ。両親が離婚し別々の環境で育った双子の姉妹、ロッテとルイーゼがサマーキャンプで偶然出会います。両親を仲直りさせようと、二人は互いにコソコソと相手になりすまし、それぞれの家へ帰ることに決めました。そこから起こる騒動を通して、家族のあり方を描いた心温まる舞台です。劇団四季での初演は1971年。児童公演の傑作として児童福祉文化省(厚生大臣賞)を受賞しています。今回は7年ぶりの再演となります。

大切な人を愛しく思える、
あるがままの愛情に出会えます。
劇団四季のファミリー・ミュージカル“ふたりのロッテ”

ロッテとルイーゼに会ってきました!

8月末、東京の自由劇場で開催された“ふたりのロッテ”。約500人の子どもたちは、最後まで真剣に舞台をみつめ、ロッテとルイーゼの物語に入り込んでいました。舞台終了後、春日井のみなさんよりちょっとお先に、ロッテ役の吉沢梨絵さんとルイーゼ役の五十嵐可絵さんにお会いし、“ふたりのロッテ”舞台秘話をお聞きしました。

写真左:ロッテ役 吉沢梨絵さん 写真右:ルイーゼ役 五十嵐可絵さん



— 顔がそっくりな“双子”を演じるために、気をつけていることはありますか?

ロッテ役/吉沢 メイクはもちろん、仕草や表情などの(外見)は常に「似てるかどうか」お互いでチェックしています。今回の出演にあたって、演出家から「似て見えるためには、お互いに歩みよる努力が必要だよ。」って言われました。それは外見に対する努力だけではないんです。相手の気持ちを思いやることで、嬉しかったり、切なくなったりする(心)が似てくることなんだな、と舞台に立ちながら毎日実感しています。

ルイーゼ役/五十嵐 ロッテ役の吉沢さんとはプライベートでも仲の良い友達で、役について屈託なく意見交換しています。楽屋も一緒に、毎日二人でたくさん話していることが、似ている、という印象を作っているかもしれません。— 特に大切にしているシーンは?

吉沢 ロッテとルイーゼは、まずお互いのそっくりな顔に驚きます。そして、一緒に時を過ごし話しているうちに、境遇やさびしい気持ちに共通点があっ

て、寄り添っていくんですね。その内面の過程を大切に演じています。

五十嵐 幕があけた瞬間から、オーストリーの大自然が舞台上に広がっていきます。そのイメージを大切にしながら演じています。

— 作品の魅力はどこにあると思いますか?

吉沢 道徳的な見地ばかりにたつのではなく、無心に家族を求める、そのピュアな感じを伝えられれば、と思っています。

五十嵐 家族がいる、大切な人がいる、そういう当たり前の幸せがあることに気付かされます。大きさは関係ない、ここにある幸せを感じてほしいです。

— 30年前から上演している演目なので、子どもの頃観たことがある、というお父さん・お母さんもいらっしゃると思います。大人に向けてのメッセージを。

吉沢 子どもの頃は、また違った感覚で観てもらえると思うので、是非リピートしていただくと嬉しいです。愛しい人を大切に思う気持ちを、押し付けがましくない形で観れる舞台ですから。

新星ギター・デュオ ichimujin



写真左から、宇高靖人、山下俊輔

ichimujin history — <http://www.ichimujin.com/>

- 2006年 ○テレビ朝日系ドラマ「**熟年離婚**」、フジテレビ系ヒットドラマ「**アンフェア**」の音楽を担当。
○NHK-FM全国放送「サタデー・ホットリクエスト」で特集番組。
○フジテレビ系ドラマ「**ブスの瞳に恋してる**」の音楽を担当。
○高知NHK放送「とさ金」のテーマ曲演奏が発端となり、高知県で熱いブームが巻き起こる。
○ファーストアルバム『**Rui**』をリリースしてメジャーデビュー。
- 2007年 ○テレビ朝日「**題名のない音楽会**」に出演。
○フジテレビ「**向井千秋**」ドラマの音楽制作に参加。
○BSジャパン「**未来図鑑**」に出演。ファンクラブ結成。
○セカンドアルバム「**ハルモニア**」をリリース。



『ハルモニア』収録曲（一部抜粋）ポニーキャニオンより発売中
ワルツ第7番嬰ハ短調作品64-2（ショパン）、月の光（ドビュッシー）、
「はかなき人生」～スペイン舞曲（ファリャ）、砂漠の石（鬼怒無月）、
ベネズエラワルツ（ラウロ）、ロンドンデリーの歌（アイルランド民謡）、他

いちむじんとは、土佐弁で「一生懸命」の意味。
高知出身の宇高靖人 & 山下俊輔によるクラシックギター・デュオ。
ショパン、ドビュッシーといったクラシックの代表的名曲から
アイルランド民謡、映画音楽、テレビドラマ音楽まで、
バラエティ豊かなギターの調べを、お楽しみください。



第44回 **かすがい芸術劇場** ギター・デュオ **ichimujin** クリスマスコンサート

12月15日(土) 14:00～(開場は30分前)
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[チケット情報]
PiPi会員電話先行予約日 10月6日(土)
一般発売 10月13日(土)～
[料金]全自由席 ※当日券¥200増、未就学児不可
一般 ¥2,500、ペア¥4,500
PiPi会員 ¥2,200、ペア¥4,000
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、
代金引換、チケットぴあ(Pコード269-863)
※ペアは、チケットぴあでの取扱いはありません。



今年で3回目を迎えるAutumn season's cafe。
秋の夕暮れをライドオン!するのは、
FM AICHI モーニング・グループでお馴染み、
人気パーソナリティー 内藤聡。
ゲストには、ライブは全てソールドアウト、
大ブレイク中のシンガー・ソングライター
馬場俊英を迎えた、充実のステージ!
滅多にないこの機会を、どうぞお見逃しなく!

今年もやります。Autumn season's cafe

FM AICHI公開録音 Autumn season's cafe

11月10日(土) 16:30～
文化フォーラム春日井・屋外特設会場

[料金]無料(但し、カフェでの飲食代は別)
[共催]春日井市 [協力]FM AICHI

11月18日(日)FM AICHI
Autumn season's cafe
(19:00～19:30)にて
当日のイベントの様態を
放送予定。
お聴き逃がしなく!



馬場俊英 profile

1967年3月20日生 埼玉県 魚座 B型
“ロードムービーのように情景を描き、青春映画
のように心情を紡ぐ”シンガー・ソングライター。
1996年ソロ・デビュー。一度メジャー契約が
切れるも、2005年8月マキシシングル「BOYS
ON THE RUN 4 SONGS」でメジャー再始
動。07年9月にはニューアルバム「青春映画
が好きだった」をリリースした。
ライブ活動も精力的に行っており、チケットは
常に即日完売! 07年4月、念願の大阪野外
音楽堂での単独ライブ「野音でピース」を実
施した。今後も要注目アーティストだ。



FM AICHI パーソナリティー **内藤聡**に聞く!

馬場俊英さんのこと、春日井のこと、いろいろ聞いちゃいました。

— 内藤さんには、Autumn season's cafe の記念すべき第1回目に出
演いただきました。2年前のことですが、覚えていらっしゃいますか?

もちろん! 木原健太郎さんが来てくださって、いい雰囲気イベントでしたね。

— イベントの時に初めて春日井に来られたとお聞きましたが、春日井は
どんな印象ですか?

実はあのイベント以来、春日井へ頻繁に通っています。美味しいレストラ
ンや隠れた名店もたくさんあるし、サボテンアイスも食べられるしね。しかも
名古屋市内から近い! 便利のよい街ですね。

— さて、今回のゲスト 馬場俊英さんと親しい内藤さんですが、そもそもの
きっかけは?

12、3年程前に働いていたラジオ局で馬場さんの曲がよく流れていて、
いい曲だな、と思っていました。そもそも、僕の古くからの友達であるコブク
ロが、馬場さんの詞を尊敬していて、彼らから馬場さんの話をよく聞いてい
たんです。その後、馬場さん再デビュー時の「今日も君が好き」っていう曲を
聞いた瞬間に「ああ、これはもうラジオで流さなきゃ!」って、その頃担当して
いた番組で勝手にテーマ曲にして、かけ続けていました。するとリスナーの
方から「あの曲を歌ってる人は誰?」って問い合わせがたくさんきて… その

流れで、馬場さんをゲストでお呼びしたり、コーナーを作ったりと、お付き合い
させてもらうようになりました。

— 内藤さんから見た、馬場さんの魅力は?

なんといっても、歌詞が素晴らしい! お茶を飲むとか、掃除機をかけると
か、普段の生活の中でほとんどの人が経験している何気ないことを、馬場
さんはしっかり捉えられる人。見慣れた日常や風景こそ言葉にするのが難
しい。でも、それを丁寧に掬い上げられるのが馬場さん。感受性豊かな人
だな、って尊敬しています。人間そのものが魅力溢れているから、話してい
ると僕が癒されちゃうんです。

— お二人のトークも楽しみです。では、春日井のみなさまへメッセージを!

売れっ子の馬場さんが屋外でライブをやる、それを春日井に住んでる人
たちは気軽に見に来れるわけですよ、すごくレアなイベントだと思います。

実はね、僕、馬場さんのライブのカゲアナやってるんです。「えー本日は
～」ってね(笑)。舞台袖から馬場さんのライブみてる、自分の浮ついた感
情から埃が落ちていくように感じるんです。いつのまにか素直な自分に戻れ
る、僕にとって大切な時間なんです。そんな時間をくれる馬場さんのライ
ブを、今回のイベントではみなさんと一緒に楽しみたいな、と思っています。

毎年恒例の自分史シンポジウム。
 今年は時代小説家として著名な、^{やまもと いちりき}山本一力先生が登場。
 豊富な人生経験から得た、山本流“人生指南”を、
 人生の機微を交えながら語ってくれることでしょう。
 貴重な時間、過ごしませんか。

家族と労働の大切さを爽やかに描き、胸を熱くさせる“山本一力”

50代で初の単行本を出版し、瞬く間に同世代作家のトップランナーとなった山本一力氏。時代小説の書き手のなかでも傑出した存在である。

山本氏が描き出す生き生きとした人間模様は、映画『あかね空』(中谷美紀主演)、ドラマ『背負い富士』(NHK/中村雅俊主演)など、映像作品の原作にも採擷されている。

自身の青春を書いた自分史的小説『ワシントンハイツの旋風』(講談社)では、高知から妹と母を追って上京した主人公が、ひたむきに働き、ひたむきに恋をする姿に、東京オリンピックや大阪万博へと走る時代が重なっていく。

実は、バブル期に億単位の借金を

抱えた山本氏。自力で返済するために小説を書きはじめ、家族一丸となって逆境を乗り切ったという経歴を持つ。直木賞受賞時には家族4人、自転車に乗って会場に現れた。飾りがなく、温かい人柄に好感度も高い。「趣味悠々」(NHK)への出演など、お茶の間でも人気である。

人間味があって家族思い。まさに、作品世界そのままの人物である。「今日を思い切りやれば、明日は味方についてくれる」がモットーの山本氏が書く主人公は、江戸の市井に生きる名も無き人々。何の変哲も無いけれど普遍的な日常からは、“家族”“労働”などの尊さが浮かび上がる。



「あかね空」文春文庫 「蒼龍」文春文庫
 山本一力 代表作

“生き方を文章にする”自分史は、市井の人々自らの言葉だからこそ、輝くのではないだろうか。それこそ、山本氏に学ぶことは多そうだ。

自分史シンポジウムは、多くの連載をもつ超多忙な山本一力氏の話が聞けるとても貴重な機会。魅力的な低い声で、胸が熱くなるメッセージを語ってくれるに違いない。



山本一力 profile

1948年高知県生まれ。新聞の住み込み配達員をしながら、1966年都立世田谷工業高等学校電子科を卒業。近畿日本ツーリストに勤めた後、デザイン事務所をつくり独立。97年「蒼龍」で第77回オール読物新人賞を受賞。2002年には「あかね空」で第126回直木賞を受賞。その他の著書に、「だいこん」「辰巳八景」など。最新刊は「銀しゃり」。

自分史シンポジウム

第9回自分史シンポジウム「旬は、今」参加者募集

募集期間 11月15日(木)～(先着順)

[料金]無料
 [応募方法]ハガキまたはFAX。
 講座名・〒・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入。
 山本一力さんや自分史についての一言も、書き添えてください。
 [応募先]〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井(財)かすがい市民文化財団「自分史シンポジウム」係
 FAX.0568-82-0213
 [定員]198名(定員になり次第、締め切ります。)

第9回自分史シンポジウム「旬は、今」

12月16日(日)13:30～16:00
 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

第一部 パネルディスカッション ナビゲーター／^{ひさつね}久恒啓一(宮城大学教授)
 第二部 山本一力 講演「生き方雑記帳」
 [共催]春日井市



昨年の自分史シンポジウムの1シーン

交流アトリウムで、年表をつくろう!

自分史シンポジウムの関連イベントとして、文化フォーラム春日井・交流アトリウムに、みんなでつくる“巨大年表”が登場します。みなさんの思い出やエピソードをカードに書き込んで、貼っていきましょう。

図解で考えよう! 自分の“人生ノート”

ライフデザインへの大いなるヒント ～人生を訪ねる旅から 受講者募集

募集期間 ～11月15日(木)〈必着〉

[料金]¥500
 [応募方法]ハガキまたはFAX。
 講座名・〒・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入。
 [応募先]〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井(財)かすがい市民文化財団「ライフデザイン」係
 FAX.0568-82-0213
 [定員]70名(超えた場合は抽選し、結果は12月1日(土)までに通知)



「図で考える人は仕事ができる」日本経済新聞社

ビジネスマンに人気の『図解』シリーズの著者が、「自分史」でひも解くライフデザインや、図で文章がうまくなるヒントを、偉人の人生と絡めながら、伝授します。本講座の受講者は、自分史シンポジウムに参加できます!

ライフデザインへの大いなるヒント～人生を訪ねる旅から

12月16日(日)11:00～12:00 文化フォーラム春日井・会議室

[講師]^{ひさつね}久恒啓一(宮城大学事業構想学部教授)

もう一度聴きたい“あの曲”をBGMに、“あの頃”の自分を

書いてみませんか。

メロディから蘇える思い出、心に残る懐かしい曲を題材に、自分史を書いてみましょう。時代背景を効果的に文章に取り込む方法や文章の基本的な書き方を、現役のシナリオライターと新聞記者が親しみやすく解説します。



思い出の曲を聴きながら自分史を書こう! 受講者募集

募集期間 10月2日(火)～31日(水)〈必着〉

[料金]¥1,000
 [応募方法]ハガキまたはFAX。
 思い出の曲を一曲を明記の上(できれば理由も)、講座名・〒・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入。
 [応募先]〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井(財)かすがい市民文化財団「思い出の曲を聴きながら」係
 FAX.0568-82-0213
 [定員]20名(超えた場合は抽選し、結果は11月10日(土)までに通知)

思い出の曲を聴きながら自分史を書こう!

11月18日(日)、12月2日(日)〈全2回〉
 14:00～16:00
 文化フォーラム春日井・文化活動室

[講師]芳賀倫子(シナリオライター)、加藤真澄(新聞記者)

文章力とパソコン力、双方を学んでみましょう。

パソコンde自分史 受講者募集

募集期間 ～10月20日(土)〈必着〉

[応募資格]パソコンで文章を作った経験がある程度の初心者。
 [料金]¥7,000
 [応募方法]ハガキまたはFAX。講座名・〒・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入。
 [応募先]〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井(財)かすがい市民文化財団「パソコンde自分史」係
 FAX.0568-82-0213
 [定員]15名(超えた場合は抽選し、結果は11月2日(金)までに通知)

自分史のイロハや文章の書き方と並行して、「ワードの基本操作」を学べる講座です。まずは、原稿を書く上で必要な文章の決まりを学び、文章力をつけましょう。その上でパソコンを使い、あなたらしいミニ自分史を作ってみましょう。

パソコンde自分史

11月10日～2008年1月19日までの毎週土曜日(12月29日を除く)全10回 13:30～16:30
 文化フォーラム春日井・文化活動室

[講師]安藤紀夫(日本自分史センター相談員)、NPO法人けやきフォーラム

日本映画の名作を見よう。

戦争の傷跡が残る戦後日本で淡々と営まれる日常、そして復興を象徴した国家的イベントを記録した作品を上映します。

■ 煙突の見える場所 監督:五所平之助 1953年



新東宝=スタジオ8プロ
白黒 スタンダード / 108分
出演:田中絹代、上原謙、高峰秀子、他

東京・千住にある、見る場所によって四本にも一本にも見える巨大な「お化け煙突」。この境界を舞台に、戦後の日本を生きる庶民の悲喜こもごもを描き出した五所平之助監督の代表作。足袋問屋に勤める中年男・緒方隆吉は、戦災未亡人の妻とつましく暮らしている。生活の足しに二階を間貸しているが、そこに見知らぬ赤ん坊が置き去りにされたことから一騒動おきる。椎名麟三の短編「無邪気な人々」を中心に、黒澤明作品で知られる小国英雄が脚本を書き、五所監督自らが主宰するプロダクションで製作した「不思議な笑い」を醸し出す一篇となった。

■ 裸の島 監督:新藤兼人 1960年



近代映画協会
白黒 シネマスコープ / 96分
出演:乙羽信子、殿山泰司、他

瀬戸内海の小さな無人島で、千太と妻のトヨは僅かな土地を耕して生活している。川も井戸もないため、隣の島まで水を汲みにいく。天秤棒で険しい斜面を登る作業は、並大抵の苦勞ではない。トヨは誤って手桶の水をこぼし、夫から平手打ちをくらわされる。それほど水はかけがえのないものなのだ。一言もセリフのないこの映画で、長男が急病で亡くなる場面は、悲痛な感情をもたらす。それでも二人は黙々と働き続けるしかないのだ。新藤兼人監督自ら出演して完成されたこの作品は、自主配給で公開されたが、第2回モスクワ映画祭でグランプリを獲得し、世界64か国に輸出された。

【上映プログラム】

2008年	10:00	13:00	16:00
2月9日(土)	お早う (～11:34)	煙突の見える場所 (～14:48)	東京オリンピック (～18:49)
2月10日(日)	煙突の見える場所 (～11:48)	裸の島 (～14:36)	お早う (～17:34)
2月11日(月・祝)	裸の島 (～11:36)	東京オリンピック (～15:49)	

平成19年度 優秀映画鑑賞推進事業 名作シネマ鑑賞会

春日井市民会館

[チケット情報] PiPi会員電話先行予約日 11月16日(金) 一般発売 11月23日(金・祝)～

[料金]全自由席 ※当日券同額、中学生以下無料
一般 1作品¥500 1日券(9・10日分のみ)¥1,200 4作品通し券¥1,600
PiPi会員 1作品¥450 1日券(9・10日分のみ)¥1,000 4作品通し券¥1,300
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換
[主催](財)かすがい市民文化財団 / 文化庁 / 東京国立近代美術館フィルムセンター [協力]コミュニティシネマ支援センター

■ お早う 監督:小津安二郎 1959年



松竹(大船)
カラー スタンダード / 94分
出演:佐田啓二、久我美子、笠智衆、他

子供の目を通して、大人たちが何気なく過ごしている日常のおかしさを、ユーモラスに描いた小津安二郎監督作品。舞台は戦後日本の典型的な風景である郊外の新興住宅地であるが、小津監督が得意とした長屋物の戦後版ともいえる内容である。ロー・アングルや端正な演出で知られる小津作品らしく、巧みな人物の出入りやほのぼのとした会話の妙などに独特の風格をもつ。敢えて「オナラ」の挿話を展開してみせるところに、前年、紫綬褒章を受け、またこの年芸術院賞を受賞した、小津一流のダンディズムを感じるところもできるだろう。

■ 東京オリンピック 監督:市川崑 1965年



東京オリンピック映画協会 / 東宝
カラー シネマスコープ / 170分
脚本:和田夏十 / 白坂依志夫
谷川俊太郎 / 市川崑
音楽監督:黛敏郎
監督部:細江英公 / 安岡章太郎
ナレーター:三国一郎

1964年に開催された第18回オリンピック東京大会は、スポーツによる国際交流を通して我が国に世界に復興を示した国家的規模の行事であった。この作品はメモリアル・フィルムとして市川崑監督以下、561人のスタッフで製作され、翌年公開されるや空前の観客動員を記録し、12億を超える配給収入を上げた話題作だ。また、「記録か芸術か」という問題を提起し、議論も巻き起こした。それは、勝敗よりも、スポーツをする「人間」により多くの描写を費やしたためとも言えるのだが、これは市川崑の一貫した姿勢でもあった。結果は、カンヌ国際映画祭批評家協会賞受賞に表れている。

かすがい芸術劇場の 映画シリーズもお見逃しなく!

時代を輝かせた二人の男、フランス国王ルイ14世と宮廷音楽家リュリを描いた、絢爛豪華な傑作!

第43回かすがい芸術劇場 映画 **王は踊る** **好評発売中!**
11月25日(日) 14:00～(開場は30分前)
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
監督:ジェラルド・コルピオ
2000年 / 115分 / カラー-日本語字幕付
ベルギー・フランス・ドイツ合作

[料金]全自由席
一般¥1,000 ペア券¥1,700 PiPi会員¥800 ペア券¥1,400
※当日券同額、3才以上有料
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換
★セリフや情景をイヤホンで説明する、シーン・ボイスガイド付
★1・3月のチケットは、11月9日(金)から発売します。

第19回 春日井市ピアノコンクール 本選会

11月4日(日) 10:00～(開場は30分前)
春日井市東部市民センター

[チケット情報]一般発売 10月5日(金)～
[料金]全自由席
¥1,000 ※当日券同額、3才未満入場不可
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、東部市民センター
[主催]春日井市
[主管](財)かすがい市民文化財団
[後援]中日新聞社、中部日本放送
[協賛]ヤマハ株式会社名古屋事業所、株式会社河合楽器製作所中部支社

昼コン&夜コンへご協賛ください!
「昼コン&夜コン」は、新しい芸術の芽を育むために、ご来場のお客様に協賛をお願いします。協賛は一口500円の協賛金をお支払いいただいています。
※協賛金は公演運営費用として活用しています。
※協賛いただける方は、「昼コン&夜コン」公演時に、スタッフへお声がけください。

第57回春日井市民美術展覧会 ポスター募集

募集期間 ～12月9日(日) (必着)
平成20年に開催する、春日井市民美術展覧会のポスターデザインを募集します。
[応募条件]募集要項を参照。
募集要項は市内各施設にて配布中。
※当財団HPからダウンロードできます。
[応募資格]中学生以上の個人又はグループ
[応募方法]郵送または持参。
作品裏面に〒住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・職業が学校名と学年を記入。制作意図を200字以内にとまとめたものを添えてください。
[応募先]
〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井 (財)かすがい市民文化財団「春日井市民美術展覧会」係
[賞]優秀:ポスター採用1点、チラシ採用1点 佳作:若干
※賞金及び賞品を贈呈します。
[主催]春日井市・春日井市教育委員会
[主管](財)かすがい市民文化財団

お喋りを交えた、カジュアルなコンサートを お楽しみください。

昼コン&夜コン 入場無料

文化フォーラム春日井・交流アトリウム

☀️ 昼コン 特別篇

10月20日(土)
10:00～10:30、11:30～12:00、
13:00～13:30、14:30～15:00

春日井まつり特別篇として、昼コンを大幅拡大して開催します。1日4回の生演奏を、どうぞご堪能ください。

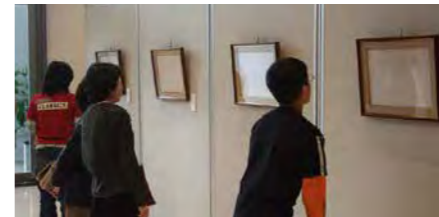


丹羽道子 (ソプラノ) 笹原なおみ (ピアノ) 濱田千枝 (フルート) 林敬子 (パーカッション)
[演奏予定]
虹の彼方に(アーレン)、
ロンドンデリーの歌(アイルランド民謡)、他
※春日井まつり開催中のため、駐車場はございません。ご注意ください。

第27回 春日井市短詩型文学祭 作品展 入場無料

10月27日(土)～11月4日(日)
9:00～16:30(最終日は15:00まで)
文化フォーラム春日井・ギャラリー附属室
一般の部に約650点、小中学生の部に約12,000点寄せられた作品から、特別賞受賞作品と審査員・実行委員の作品を展示します。

■表彰式 11月4日(日) 13:00～
文化フォーラム春日井・交流アトリウム
[主催]春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会
[主管](財)かすがい市民文化財団



小野道風公奉賛 第59回全国書道展覧会 (道風展) 入場無料

■春日井展
応募された作品を4会場で展示します。
10月27日(土)～11月4日(日)
9:00～16:30(最終日は15:00まで)
一般部:春日井市役所11・12階
文化フォーラム春日井・ギャラリー(春日井市観光協会会長賞以上を展示)
学生部(条幅):春日井市役所10・11階
学生部(半紙):春日井市道風記念館・観音寺

■名古屋展
一般部の春日井市観光協会会長賞以上と、学生部文部科学大臣奨励賞を展示します。

11月6日(火)～11日(日)
10:00～18:00(9日(金)は20:00まで)
愛知県美術館ギャラリーJ(愛知芸術文化センター8階)
■表彰式 11月3日(土・祝) 10:30～
春日井市民会館

SCHEDULE 10/11

PR 第5回
イルシオン フラメンカ公演

10月27日(土) 19:00～ (開場は30分前)

春日井市民会館

女性中心のフラメンコ界で、数少ない若手男性ダンサー池上源太郎のパワフルな踊りと、スペイン人ダンサー ハビエル・ギジェンの創意に満ちた、スパニッシュ・コンテンポラリーダンスをお楽しみください。

[料金]全自由席 ※当日券¥500増
一般¥3,000 PiPi会員¥2,700



[取扱い]
文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、他
[プログラム]

第I部 スパニッシュ・コンテンポラリーダンス
出演/ソル・デ・エスパーニャ(ハビエル・ギジェン)

第II部 プーロ・フラメンコ

出演/池上源太郎(バイレ)
梶原紀子、村田雅子(バイレ)
岡本進(カンテ)、山田美治(ギター)
山賀真琴(カホン)、丸田朗生(ギター)

[主催・問合せ]
スタジオトリアーナ 090-1754-4800
小川楽器 0568-83-8188



開催日	催物名	時間	料金	主催・問合せ
10月2日(火)～8日(月・祝)	中日写真協会 春日井支部写真展	9:00～17:00(最終日16:30まで)	無料	中日写真協会春日井支部(西井) 0568-81-7919
10月10日(水)～14日(日)	第14回暢碩會書展	9:30～18:00(最終日17:00まで)	無料	暢碩會(熊谷) 0568-81-2864
10月17日(水)～21日(日)	春日井まつり協賛 第25回春日井市美術協会展	10:00～18:00(最終日17:00まで)	無料	春日井市美術協会(後藤) 0568-31-8517
10月27日(土)～11月4日(日)	小野道風公奉賛第59回全国書道展覧会(道風展)	9:00～16:30(最終日15:00まで)	無料	道風展事務局(財)かすがい市民文化財団内 0568-85-6868
10月27日(土)～11月4日(日)	第27回春日井市短詩型文学祭 作品展	9:00～16:30(最終日15:00まで)	無料	(財)かすがい市民文化財団 0568-85-6868
11月7日(水)～18日(日)	春日井の食文化	9:00～17:00(最終日16:00まで)	無料	春日井市教育委員会文化財課 0568-33-1113
11月20日(火)～25日(日)	俊の会 日本画展	9:00～17:00(最終日16:00まで)	無料	俊の会(瀧日) 0568-31-2417
11月20日(火)～25日(日)	ステンド・グラス その仲間展	10:00～17:00(最終日15:00まで)	無料	ステンド・グラス・アミーダ(家田) 0568-84-0435
12月1日(土)、2日(日)	沙羅の会いけ花展 花・逍遙	10:00～17:00	無料	沙羅の会(平田) 0568-32-8098

開催日	催物名	時間	料金	主催・問合せ
10月8日(月・祝)	第3回 Libre Concert	13:30～16:00	無料	塚本 0572-22-7183
10月13日(土)、14日(日)	あいち子ども芸術大学2007「動いた! 墨絵アニメ体験」	13:00～16:30	要申込み	(財)かすがい市民文化財団 0568-85-6868
10月17日(水)～21日(日)	春日井まつり協賛 第25回春日井市美術協会展	10:00～18:00(最終日17:00まで)	無料	春日井市美術協会(後藤) 0568-31-8517
10月25日(木)	ハーモニカコンサート	13:45～16:30	無料	ハーモニカドレミ(山本) 0568-31-7836
10月28日(日)	第42回かすがい芸術劇場 上方落語～吉弥・紅雀 二人会～	14:00～16:00	2,000円	(財)かすがい市民文化財団 0568-85-6868
11月4日(日)	幼児音楽教室・ピアノ教室発表会	12:30～16:00	無料	安藤音楽教室(安藤) 0568-84-0737
11月11日(日)	村井・服部ピアノ教室発表会	13:00～16:00	無料	村井 0568-85-1396
11月17日(土)	春日井ギターオーケストラ オータムコンサート	13:30～15:30	要整理券	春日井ギターオーケストラ(鈴木) 0568-84-2601
11月18日(日)	茶木みやこライブ	14:30～17:00	2,500円	NPO法人文化共同ネット・円(小原) 0568-84-5989
11月23日(金・祝)	古希記念リサイタル 回帰	13:30～16:00	無料	吉田 0568-83-7757
11月24日(土)	西田ピアノ教室発表会	12:30～16:30	無料	西田ピアノ教室(西田) 0568-92-3579
11月25日(日)	第43回かすがい芸術劇場 映画「王は踊る」	14:00～16:00	1,000円	(財)かすがい市民文化財団 0568-85-6868

開催日	催物名	時間	料金	主催・問合せ
10月20日(土)	昼コン「特別篇」	10:00～、11:30～、13:00～、14:30～	無料	(財)かすがい市民文化財団 0568-85-6868
10月26日(金)	夜コン「刺激的に、イタリアンな夜～ヴェネツィア編」	19:00～20:00		
11月4日(日)	第27回春日井市短詩型文学祭 表彰式	13:00～		
11月10日(土)	FM AICHI 公開録音 Autumn season's cafe	16:30～		
11月17日(土)	昼コン「ヨーロッパからの風～ピアノ4手の楽しみ～」	14:00～15:00		

開催日	催物名	開催時間	料金	主催・問合せ
10月6日(土)	春日井から始めるサスティビリティライフ	13:00～15:00	無料	株式会社西友ザ・モール春日井(南) 0568-56-1207
10月7日(日)	劇団四季のファミリー・ミュージカル「ふたりのロッセ」	14:00～16:00	5,250円※A席完売	(財)かすがい市民文化財団 0568-85-6868
10月13日(土)	セーフティフォーラム2007	13:30～16:15	無料	春日井市市民安全課 0568-85-6061
10月20日(土)	第31回春日井まつり 童謡の広場	13:00～16:00	無料	春日井まつり実行委員会(勝田) 0568-85-6617
10月21日(日)	第31回春日井まつり 芸能祭	10:30～16:00		
10月23日(火)	愛知県医師会春日井准看護学校 戴帽式	14:00～15:30	無料	愛知県医師会春日井准看護学校(杉村) 0568-31-2297
10月27日(土) PR	第5回イルシオン フラメンカ公演	19:00～20:30	3,000円	スタジオトリアーナ 090-1754-4800/小川楽器 0568-83-8188
10月28日(日)	無名塾公演 ドン・キホーテ	14:30～17:30	6,000～3,000円	NPO法人文化共同ネット・円(小原) 0568-84-5989
11月3日(土・祝)	小野道風公奉賛第59回全国書道展覧会(道風展)表彰式	10:30～12:00	無料	(財)かすがい市民文化財団 0568-85-6868
11月4日(日)	中高ジョイントコンサート	13:00～16:00	要整理券	春日井市教育委員会 丸田小学校(林) 0568-84-2211
11月10日(土)	第15回春日井シンポジウム	13:00～16:30	要申込み	春日井市教育委員会文化財課(若杉) 0568-33-1113
11月11日(日)		10:00～16:30		
11月17日(土)	ジャズダンス発表会 Emotion ～星をめざして～	15:00～16:30	1,000～500円	キッズダンスFunFun(榎本) 080-5106-6985
11月21日(水)	春日井市老人クラブ連合会大会	10:00～12:00	無料	春日井市老人クラブ連合会事務局(長谷川) 0568-85-6176
11月23日(金・祝)	コンドルズ「SKY HIGH」	18:00～20:00	5,000～2,000円	(財)かすがい市民文化財団 0568-85-6868
11月24日(土)	春日井日韓親善協会コリア映画祭	14:00～15:30	無料	春日井日韓親善協会(原) 0568-81-4141
11月25日(日)	第19回真木美どり歌謡教室発表会	9:30～19:30	無料	ファンタジー(近藤) 0568-82-6851

春日井市民会館一時利用停止のお知らせ
閉鎖期間 平成20年1月16日(水)～2月1日(金)

舞台機器修繕工事のため、1月16日(水)～2月1日(金)まで、施設の利用停止を予定しております。工事期間中は、安全を第一に考えてホールを含む全館を閉鎖いたします。

各種手続きや打ち合わせ等につきましては、工事期間中にかかわらず、これまでどおり春日井市民会館事務所にて受け付けさせていただきます。皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

ペーパーわんことなかまたち ～いしかわこうじの世界～

8月1日(水)～12日(日) 10:00～17:00
文化フォーラム春日井・ギャラリー、交流アトリウム

EXHIBITION

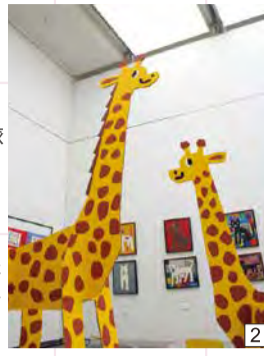


1

簡単に作れて、しかも愛らしい…それが、ペーパーわんこの魅力! 子どもも大人も夢中になって、見た・作った・遊んだペーパーわんこの展覧会が、文化フォーラム春日井で開催されました。いしかわこうじさんが生み出すペーパーわんこは、もちろん全員集合! 本物は手のひらに乗るくらい小さなものですが、今回は特別に大きなペーパーわんこも登場。さらに、いしかわさんが旅しながら撮影した「世界を旅するわんこ」の写真や絵本原画、アニメーションなど、バリエーション豊かなわんこでいっぱい展覧会となりました。さらに展覧会場を飛び出して、交流アトリウムにもわんこ進出。小さい子どもたちやお母さん・お父さんが真剣になってペーパーわんこを作る姿がみられました。

自分で作らなくても、物はたくさん溢れています。でも、たまには手を動かして物を作る楽しみを味わってみてはいかがでしょうか?

1. 鷹来小学校にやってきたペーパーわんこたち。春日井市内を旅したわんこの写真が、展覧会で9点展示されました。 2. こんな大きなペーパーざりも登場! 3. とっても可愛い、いしかわさん自筆の絵画作品が、会場にズラッと並びました。



2



3



「オリジナルペーパーわんこ」をつくるワークショップ。みんな真剣な表情で作っていました。できあがったペーパーわんこは、どれも個性的。最後はいしかわこうじさんのナビゲートで、それぞれのわんこの特徴を発表しました。



4



5



6



7

展覧会前に行われた「おおきなペーパーわんこ」をつくるワークショップ。 4. まずはダンボールでできた型紙を組み立てます。 5.好きな色にぬっていきます。足も忘れずに塗らなきゃ! 6&7.お洒落なおおきなペーパーわんこのできあがり。8月31日まで交流アトリウムに展示され、みんなの人気者でした!



「ペーパーどうぶつえん」は連日大賑わい! こんなにたくさんのペーパーわんこ達が集まりました。

第40回かすがい芸術劇場 R-15指定

たいら じょう 平常 人形劇「毛皮のマリー」

8月10日(金)18:00～20:00 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

妖艶な舞台装置、13体の人形たち。ステージの端から端までが平常の世界となった、人形劇「毛皮のマリー」。寺山修司作の独特な世界を、平常はどう表現するのか? 興味津々のお客さまで、会場はたちまち満席となりました。

そして平常の人形劇は、想像を絶する、強烈なステージ! …全ての登場人物を平一人で操演し、台詞や声色を人物のキャラクターによってガラッと変える。ト書きは全て読み、バックミュージックも歌う(時には鼻歌で)。ラジオから流れる音は、身体で表現する。演者の休憩は舞台シーンとして観客に見せる。そして、平自ら美少年欣也を演じる。…そんなめくるめく舞台上で、平は足音一つたてず無駄な動きをしない。そのしなやかな動きに呼応するかのように、息を潜め、時には笑い、涙する観客たち。最後は「ブラボー」の声もあがった充実のステージは、夏の夜の素敵な“大人の時間”となりました。

▶お客さまから頂いたアンケートから……(抜粋)

- ダンス、せりふ、歌、人形の扱い方、どれも素晴らしい、一時も目をそらせなかったです。素晴らしい熱演でした。ありがとうございました。(40代・女性)
- 寺山作品に触れるのも初めてなら、こんな人形劇も初めて。新鮮でした。(30代・女性)
- 人間の想像する力を最大限に生かし、信じる力を感じた舞台でした。ありがとう。(20代・男性)
- 作品に対する情熱、並々ならぬものを感じました。(60代・女性)
- 原作を読みたいと思いました。(40代・女性)
- 友人に誘われ何気なく来ましたが、思っていた以上の面白さに感激しました。(20代・女性)

▶平さんの今後の活動は、HPをチェックして! <http://tairajo.com/>

REPORT



かすがい市民文化財団 主催事業 チケットのお求めについて

■電話予約について

PiPi会員の方 (受付時間 9:00~17:00)

→PiPi会員電話先行予約(専用)

TEL.0568-85-6078

※会員電話先行予約日のみ、先行予約を受付けます。

一般のお客様 (受付時間 9:00~20:00)

→チケット電話予約 **TEL.0568-85-6868**

※チケット発売初日のみ、10:00からの受付となります。

●全席指定チケットの電話予約については、座席の指定ができませんので、ご了承ください。

●文化フォーラム春日井・文化情報プラザにて直接購入される方のみ、座席の指定が可能です。

■予約チケット受取り方法

①文化フォーラム春日井・文化情報プラザにてお受取り

チケット料金とお引換えください。お取り置き期間は、一般発売日から2週間以内です。

②代金引換にて、ご自宅でお受取り

郵便配達にてご自宅にチケットをお届けいたします。

チケットと引換えに配達係員に指定の代金をお支払いください。

※注文後、約1週間程度で届きます。日にち・時間の指定はできません。

※チケット代金の他に、代引手数料として500円程度をご負担していただきます。

■チケット発売初日の販売時間について

・文化フォーラム春日井・文化情報プラザ 窓口販売 9:00~

・かすがい市民文化財団 電話予約(代金引換含む) 10:00~

・チケットぴあ スポット&電話予約(Pコード予約) 10:00~

コンビニでの直接購入 12:00~

※公演によっては変更になる場合がございますので、お問合せください。

※前売完売の場合、当日券はありません。 ※一部の事業を除いて、20枚以上同時購入されると1割引になります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドは対象外)
※友の会PiPi会員価格でのチケット購入は、文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、及び代金引換のみとなります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドは対象外)

友の会PiPi 提携ショップ一覧 (平成19年9月1日現在)

レストランバー Lime Stone

サービス 飲食代金の20%引き
鳥居松町4-2 バードフォービル1F ☎0568-85-3559

マクドナルド鳥居松店・春日井清水屋店

サービス ドリンクMサイズまたはホットドリンクを100円で提供(3名まで)

FUTURO cafe+dining

サービス 飲食代金の10%引き
柏原町5-312 ☎0568-57-2422

ギャラリー・ティーサロン われもこう

サービス 飲食代金の5%引き
鳥居松町3-42-1 ☎0568-81-4824

洋食ダイニング オガッサ

サービス デザートサービス
瑞穂通4-62 コーポエトワール1F ☎0568-84-7625

旬菜料理 七菜

サービス ランチにコーヒー1杯サービス(月~金)
飲食代金の10%引き(夜の部のみ)
瑞穂通5-50 ☎0568-81-0184

移動カフェ dufi(H)cafe

サービス 飲食代金の10%引き(ランチ500円のみ)
名古屋市中区栄3-23-10 ヴィレッジヴァンガード前
☎090-9937-8796

創作会席 茶寮 雅の里

サービス ドリンク1杯サービス
小牧市小針1-115 ☎0568-75-0882

いわま楽器

サービス 初回お買上げ時に10ポイントサービス
鳥居松町7-48 ☎0568-81-7579

とりとり亭 勝川駅前店

サービス 飲食代金の15%引き
(10名まで、最高5,000円割引)
松新町1-3361-5 ルネッサンスシティ勝川二番街1F
☎0568-31-6263

カフェ 百時

サービス 飲食代金の5%引き
鳥居松町6-50-3 プラザ川久1F ☎0568-81-0640

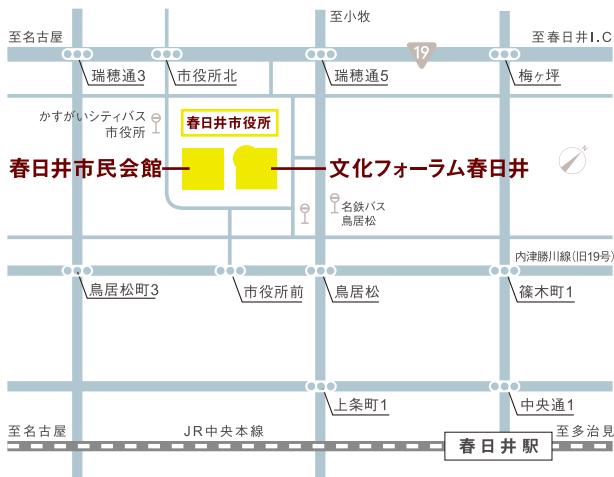
丸十伊藤書店

鳥居松町6-5 ☎0568-81-2510

移動カフェ BERGEN

サービス 飲食代金の10%引き
尾張旭市狩宿町こみかるはうすベルコート店前
☎090-7613-5161

※サービス内容に変更がある場合がございますので、ご了承ください。
※友の会PiPiについては、友の会PiPi事務局 ☎0568-85-6078までお問合せください。



文化フォーラム春日井／春日井市民会館

<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/zaidan/>

486-0844 春日井市鳥居松町5-44

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日

交通のご案内

駐車台数に限りがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。

●JR中央本線「春日井駅」北口より

一名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分

一北へ徒歩約20分

一レンタサイクル(無料)で約5分

●かすがいシティバス施設連絡線でお越しの方

一「市役所」下車、南へ徒歩2分

●お車で越しの方

一文化フォーラム春日井 地下駐車場をご利用ください。

発行 財団法人かすがい市民文化財団
486-0844 春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井 TEL.0568-85-6868
編集&制作: 財団法人かすがい市民文化財団
表紙写真: 山田 匡